



# 2025

## 第78期 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日

ティアック株式会社

証券コード:6803



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2025年9月30日をもちまして、第78期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

**英 裕治**  
Hanabusa Yuji

## 当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっています。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動等の影響にも一層注意する必要があります。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうちプレミアムオーディオ機器事業では、ESOTERICブランドにおいて、Grandiosoシリーズのラインナップ強化により、高音質、高付加価値な製品展開を推し進め、ブランド価値を高めることで、海外市場を伸ばし堅実な成長路線を引き続き目指してまいります。TEACブランドにおいて、引き続き中高級機のReferenceシリーズの更なる強化により、収益とブランドイメージの向上に努めてまいります。輸入ブランドにおいては、ブランドの持つ個性を訴求することで、ブランドの定着を強化してまいります。音楽制作・業務用オーディオ機器事業（TASCAMブランド）では、業務用デジタルミキサーを軸としながら、周辺機器のラインナップ拡充も行っており、従来の録音

再生機器とともに、更に柔軟で質の高いトータルシステムソリューションの提供を強みとしたBtoB事業の拡大に努めてまいります。また、BtoC事業においては、製品ポートフォリオの見直しを進め、付加価値を明確に中高価格帯へ転換し、採算性の向上と市場シェアの拡大を目指してまいります。情報機器事業においては、当社のコアコンピテンスである「高度な記録と再生技術」をベースに計測、半導体、医療、移動体の各分野において独自技術や先端技術を組込んだ製品開発を行い、ニッチトップポジションの獲得を進めてまいります。また、海外市場における販売拡大を最重要課題として位置づけ、人的資本の積極的な投入、マーケティング活動の強化、さらにはグローバルなニーズを踏まえた製品戦略の展開を通じて、着実な成長を目指してまいります。

当中間連結会計期間におきましては、米国の通商政策の影響を始め様々な外的リスクに対応する為、構造改革費用として販売拠点および製造拠点の人員削減費用58百万円を個別開示項目に計上いたしました。しかしながら、TASCAMブランドBtoB事業および情報機器事業における医用画像記録再生機器とソリューションビジネスが好調に推移したことから、前年同期と比較して売上収益は増加し営業損失は減少しました。また、為替差損益を含む金融費

用の圧縮を進めたことから、親会社の所有者に帰属する中間損失は前年同期と比較して減少しました。

この結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上収益は7,238百万円（前年同期比7.5%増）、営業損失は226百万円（前年同期営業損失282百万円）、親会社の所有者に帰属する中間損失は202百万円（前年同期親会社の所有者に帰属する中間損失344百万円）となりました。

## 通期の業績見通しについて

当社のBtoC事業は第3四半期、BtoB事業は第4四半期にそれぞれの需要期を迎えることから、当社グループの業績は、売上、利益ともに下半期に偏重する傾向があります。

2026年3月期の連結業績見通しにつきましては、2025年5月14日に公表しました数値から変更はなく、連結売上収益は160億円、営業利益3億5千万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は1億円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

## 連結業績ハイライト（国際会計基準）

※2025年5月14日公表の当社2025年3月期決算短信における連結業績予想

	第76期 2024年3月期	第77期 2025年3月期	第77期（中間） 2024年9月期	第78期（当中間） 2025年9月期	第78期見通し※ 2026年3月期
売 上 収 益（百万円）	15,672	15,668	6,736	7,238	16,000
営 業 利 益（百万円）	445	340	△ 282	△ 226	350
税 引 前 当 期 利 益（百万円）	5	59	△ 361	△ 241	150
親会社の所有者に帰属する当期利益（百万円）	△ 53	81	△ 344	△ 202	100
基 本 的 1 株 当 た り 当 期 利 益（円）	△ 1.85	2.82	△ 11.96	△ 7.01	3.47
資 产 合 计（百万円）	11,871	10,815	11,404	10,914	—
資 本 合 计（百万円）	3,574	3,558	2,984	3,329	—

## 音響機器事業 70.8%

売上収益	5,124百万円 (前年同期比 5.6%増)
セグメント営業利益	502百万円 (前年同期比 51.1%増)

プレミアムオーディオ機器 (ESOTERICブランド、TEACブランド) は、ESOTERICブランドにおいて、前期上市のGrandiosoシリーズネットワークプレーヤーをはじめとしたネットワークカテゴリー製品の好調な推移とその他のカテゴリーの低調な推移は第2四半期も継続しました。TEACブランドにおいては、Referenceシリーズ、ターンテーブル、フルサイズコンポが海外販売を中心におよび好調に推移しました。輸入ブランドにおいては、Tannoyブランドの工場移管に伴い製品供給が不安定になっているため、低調に推移しました。米国の通商政策に起因する先行きの不透明感は、購買意欲にブレーキを掛ける形で各地域の高額商品販売を中心に影響を及ぼし、プレミアムオーディオ機器全体では、前年同期比で減収となりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド) は、BtoB事業において、安定した音響設備機器需要により主力録音再生機と各種周辺機器の販売が好調に推移しました。BtoC事業においては、ミュージシャン・クリエイター向け商品への安定した需要により堅調に推移しました。なお、米国の通商政策については、米国販売子会社が前倒し仕入を進めていた在庫の販売に加えて、新規入荷分の価格転嫁を進めた結果、大きな影響はありませんでした。その結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体では前年同期比で増収となりました。

- ハイエンドオーディオ機器
- プレミアムオーディオ機器
- 音楽制作・業務用音響機器

オリジナルブランド

**ESOTERIC TEAC TASCAM**

## その他事業 4.2%

売上収益	306百万円 (前年同期比 7.0%減)
セグメント営業損失	23百万円 (前年同期セグメント営業利益34百万円)

- EMS事業
- 産業用光ドライブ

## 情報機器事業 25.0%

売上収益	1,809百万円 (前年同期比 16.4%増)
セグメント営業損失	84百万円 (前年同期セグメント営業損失102百万円)

計測機器は、データレコーダーにおいて前期末上市の新製品がリースレンタル業界向けで導入が進まず、またセンサーおよびデジタル指示計では半導体製造装置市場における実装装置の大手顧客からの受注は回復基調にあるものの、その他顧客の需要が依然として限定的だったことから、カテゴリー全体では、前年同期比で減収となりました。

医用画像記録再生機器は、国内の消化器内視鏡向けレコーダーの販売が引き続き好調に推移し、フラッグシップモデルの手術画像記録用4Kレコーダーは、立ち上がりが遅れていた欧州市場における販売が拡大基調に転じたこともあり、前年同期比で増収となりました。

機内エンターテインメント機器は、船舶業界向けのストック収益モデルの寄与や保守サービスの販売を積み重ねたことにより前年同期比で増収となりました。

ソリューションビジネスは、医用向けサーバーやPCなどの出荷、ネットワーク・インフラの保守サービスが好調に推移し、前年同期比で増収となりました。

- 計測機器 トランステューサー  
データレコーダー
- 医用画像記録再生機器
- 機内エンターテインメント機器
- ソリューションビジネス

オリジナルブランド

**TEAC**

要約連結財政状態計算書 (単位:百万円)

	当中間期 2025年 9月30日現在	前期 2025年 3月31日現在
<b>■ 資産</b>		
流動資産	8,691	8,568
現金及び現金同等物	1,464	1,552
営業債権及び その他の債権	2,855	3,108
棚卸資産	4,157	3,661
その他の流動資産	215	248
非流動資産	2,223	2,246
有形固定資産	1,797	1,853
無形資産	105	115
繰延税金資産	50	11
その他の金融資産	146	143
その他の非流動資産	126	125
<b>資産合計</b>	<b>10,914</b>	<b>10,815</b>

(単位:百万円)

	当中間期 2025年 9月30日現在	前期 2025年 3月31日現在
<b>■ 負債</b>		
流動負債	6,248	5,557
社債及び借入金	3,073	2,565
リース負債	346	373
営業債務及びその他の債務	1,336	1,024
引当金	679	689
未払法人所得税	3	13
その他の流動負債	812	894
非流動負債	1,337	1,700
社債及び借入金	579	797
リース負債	402	477
長期未払金	270	336
引当金	45	44
繰延税金負債	19	22
その他の非流動負債	22	24
<b>負債合計</b>	<b>7,585</b>	<b>7,257</b>
<b>■ 資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分	3,329	3,558
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	11	11
自己株式	△122	△122
利益剰余金	1,981	2,211
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△3,430	△3,430
その他の資本の構成要素	1,390	1,387
非支配持分	0	0
<b>資本合計</b>	<b>3,329</b>	<b>3,558</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>10,914</b>	<b>10,815</b>

要約連結損益計算書 (単位:百万円)

	当中間期 2025年4月1日～ 2025年9月30日	前中間期 2024年4月1日～ 2024年9月30日
売上収益	7,238	6,736
売上原価	4,238	3,804
売上総利益	3,001	2,932
販売費及び一般管理費	3,167	3,219
その他の損益	△1	4
個別開示項目による営業利益(△損失)	△168	△282
個別開示項目	△58	－
営業利益(△損失)	△226	△282
金融収益	55	20
金融費用	70	98
税引前中間利益(△損失)	△241	△361
法人所得税費用	39	16
中間利益(△損失)	△202	△344
中間利益(△損失)の帰属先		
親会社の所有者	△202	△344
非支配持分	－	－

要約連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	当中間期 2025年4月1日～ 2025年9月30日	前中間期 2024年4月1日～ 2024年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△34	105
投資活動による キャッシュ・フロー	△83	△85
財務活動による キャッシュ・フロー	27	150
現金及び現金同等物に 係る換算差額	3	△49
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△87	121
現金及び現金同等物の 期首残高	1,552	1,227
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,464	1,347

要約連結持分変動計算書 (2025年4月1日～2025年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金	利益剰余金 (IFRS移行時の 累積換算差額)	その他の 資本の 構成要素	合計		
当期首残高	3,500	11	△122	2,211	△3,430	1,387	3,558		3,558
中間包括利益									
中間利益(△損失)				△202			△202		△202
その他の包括利益						2	2		2
中間包括利益合計	—	—	—	△202	—	2	△200		△200
配当金				△29			△29		△29
自己株式の取得			△0				△0		△0
自己株式の処分									
その他									
当中期末残高	3,500	11	△122	1,981	△3,430	1,390	3,329		3,329

※連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

## Point 1 連結財政状態計算書

## &lt; 資産合計 &gt;

現金及び現金同等物の減少 87 百万円、営業債権及びその他の債権の減少 253 百万円、棚卸資産の増加 497 百万円が主な要因となり、前期末と比較して 99 百万円の増加となりました。

## &lt; 負債合計 &gt;

社債及び借入金の増加 291 百万円、営業債務及びその他の債務の減少 312 百万円、リース負債の減少 101 百万円が主な要因となり、前期末と比較して 328 百万円の増加となりました。

## Point 2 連結損益計算書

## &lt; 売上収益、親会社の所有者に帰属する中間利益 &gt;

米国の通商政策の影響を始め様々な外的リスクに対応する為、構造改革費用として販売拠点および製造拠点の人員削減費用 58 百万円を個別開示項目に計上いたしました。しかしながら、TASCAM ブランド BtoB 事業および情報機器事業における医用画像記録再生機器とソリューションビジネスが好調に推移したことから、前年同期と比較して売上収益は増加し営業損失は減少しました。また、為替差損益を含む金融費用の圧縮を進めたことから、親会社の所有者に帰属する中間損失は前年同期と比較して減少しました。

## Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

## &lt; 営業活動によるキャッシュ・フロー &gt;

主な内訳は、プラス要因として、減価償却費及び償却費 249 百万円、金融収益及び金融費用 38 百万円、営業債権及びその他の債権の減少額 256 百万円。マイナス要因としては、中間損失 202 百万円、棚卸資産の増加額 470 百万円。

## &lt; 財務活動によるキャッシュ・フロー &gt;

主な内訳は、プラス要因として、短期借入金の増加額 509 百万円。マイナス要因としては、長期借入金の返済による支出 203 百万円、リース負債の返済による支出 201 百万円。



TEAC

## ネットワーク・トランスポート

## NT-507T

TEACでは、ネットワークトランSPORT『NT-507T』を正式に発表し、12月下旬より市場投入を開始します。本機は、既発売のDAコンバーター『UD-507』と組み合わせることで、ネットワーク再生における高品位な音質を実現。最新のストリーミング技術に対応し、ハイレゾ音源やQobuzをはじめとする多様なミュージックストリーミングサービスを自在に楽しめる環境を提供します。堅牢な筐体設計と洗練された操作性により、次世代のオーディオシステムの中核を担うモデルとして幅広いユーザーからの要求に応えます。

さらに、『NT-507T』は音元出版主催の「オーディオ銘機賞」において、「ネットオーディオ大賞」を受賞しました。これは、音質・機能・デザインのすべてにおいて高い評価を獲得したことのみならず、そのコンセプトにおいても高く評価されたことの証であり、TEACブランドの技術力と革新性を改めて示すものです。今後も、長年培った音響技術と独自の設計思想を活かし、グローバル市場に向けた製品開発を推進し続けます。



ESOTERIC

ネットワークプレーヤー /DAC  
Grandioso N1

ESOTERICでは、ネットワークプレーヤー /DAC『Grandioso N1』を正式に発表し、ハイエンドオーディオ市場に新たな基準を打ち立てます。本機は、第4世代『Esoteric Network Engine G4』を搭載し、SFPポートによる光LANへの対応、大容量RAMとパワフルなCPUによる高い処理能力により超高精度デジタル伝送を実現。さらに、ESOTERIC独自の『Master Sound Discrete DAC G2』を採用することで、圧倒的な情報量と自然な音の広がりを両立し、デジタル再生の頂点を目指したサウンドを提供します。ネットワークとオーディオ回路を完全分離した独立リニア電源設計も加わり、静寂感とダイナミクスを極限まで追求しました。

加えて、『Grandioso N1』は、国内最高峰のオーディオ賞「Stereo Sound Grand Prix」において、昨年のフォノアンプ『Grandioso E1』に続き、2年連続でトップ賞となるGolden Sound賞を受賞しました。これは、ESOTERICが掲げる革新性と音質へのこだわりが高く評価された証であり、ブランドの頂点をさらに確固たるものにしています。今後も、長年培った技術力と設計哲学を活かし、世界のオーディオファンに感動を届ける製品開発を推進してまいります。



TASCAM

32ビットフロート録音・HDMI Sync対応4chフィールドレコーダー/ミキサー/タイムコードジェネレーター  
FR-AV4

今期10月より出荷を開始しました『FR-AV4』は、ビデオグラファー、クリエイター、サウンドデザイナーのための音声収録ソリューションです。4系統の超低ノイズUltra HDDAマイクプリアンプ、デュアルADコンバーターと32ビットフロート録音により、ささやき声から爆音まで、あらゆる音をクリアかつ歪みなく収音します。コンパクトで堅牢なボディは可搬性にすぐれ、レコーディングバッグやリグに容易に組み込みます。また、電池交換は、専用のバッテリーホルダー『BH-4AA』により素早く、簡単に行えます。さらに、タイムコードジェネレーターと特許技術採用のHDMI Sync機能を搭載し、複数の周辺機器のセッティングにおける手間の解消や音声と映像の同期など、ワークフローの効率化を実現。『FR-AV4』は、録り逃せない瞬間に確実に捉え、制作ワークフローを飛躍的に改善します。ビギナーからプロフェッショナルの現場まで確実に高音質で収録できるレコーダーとして、動画制作における録音・同期・編集を一台でスマートにこなせる画期的な製品です。

TASCAMは、これからも制作現場の声に耳を傾け、より快適で確実なワークフローを支える製品提供を目指します。



TEAC

ロードセルシグナルコンディショナー  
TD-SC1 Modbus RTU

2021年10月より販売開始した『TD-SC1』は、主に、半導体製造装置、産業用ロボット、FA装置等のロードセルの加圧力制御に用いられ、ロードセルの微小な電気信号を、制御装置の仕様に合わせた出力に変換するシグナルコンディショナーです。販売開始以来、D/A出力モデル、RS-485対応モデル、CC-Link対応モデル、EtherNet/IP™対応モデルとフィールドバス/フィールドネットワークを充実させるべく4モデルの販売をおこなってきましたが、RS-485モデルの新機能として、国内外のFA業界で需要が高い通信ネットワークであるModbus RTU機能を追加し、2025年8月より販売開始いたしました。

ModbusとはアメリカのModicon Inc.により開発された産業用機器間でデータをやり取りするための通信プロトコルで、工場の生産ラインやロボット、センサー類の制御など、幅広い用途で使用されています。仕様書が一般公開されており、誰でも無料で利用できるので、導入コストを抑えることが可能です。

これからも、日々進歩するテクノロジーを捉え、お客様の生産性向上と競争力強化に貢献するソリューションを追求し、市場のニーズに応えることが出来る製品を提供していきます。

## 会社の概要

商 号 ティアック株式会社  
(TEAC CORPORATION)  
本 社 〒206-8530  
東京都多摩市落合一丁目47番地  
設 立 1953年8月26日  
資 本 金 35億円  
事業年度 4月1日～翌年3月31日  
代 表 者 代表取締役社長 英 裕治  
従業員数 単体 235名 連結 541名

## ● 国内拠点

ティアック株式会社  
本社 [ 東京都 ]  
EMCセンター [ 埼玉県 ]  
大阪営業所 [ 大阪府 ]  
名古屋営業所 [ 愛知県 ]  
ティアックマニュファクチャリングソリューションズ  
株式会社 [ 東京都 ]  
ティアックカスタマーソリューションズ株式会社  
[ 埼玉県 ]  
ティアックシステムソリューションズ株式会社  
[ 東京都 ]

## ● 海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [ 米国 ]  
TEAC EUROPE GmbH [ ドイツ ]  
TEAC UK LTD. [ 英国 ]  
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [ 中国 ]  
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [ 香港 ]  
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [ 中国 ]

## 役員

代表取締役社長 英 裕治  
取締役 倉原 良弘  
取締役 金子 靖代  
取締役(監査等委員) 林 健二  
取締役(監査等委員) 原 琢己  
取締役(監査等委員) 坂口 洋二

## 株式の状況

発行可能株式総数 … 40,000,000株  
発行済株式の総数 …… 28,802,249株  
(自己株129,464株を除く)  
株主数 ..... 16,354名

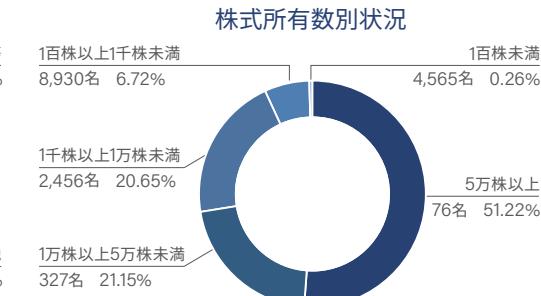
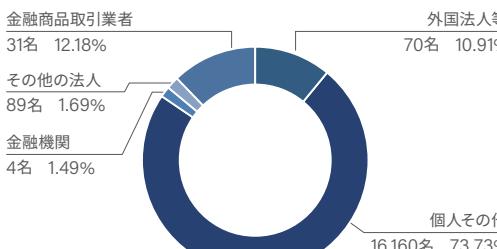
## 大株主（上位10名）

株 主 名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
楽天証券株式会社	1,819	6.32
松尾 博	798	2.77
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	751	2.61
力丸 米雄	711	2.47
SMBC日興証券株式会社	674	2.34
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	562	1.95
勝山 隆一朗	500	1.74
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	483	1.68
ティアック社員持株会	466	1.62
株式会社SBI証券	378	1.31

※ 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

※ 持株比率は、自己株式(129,464株)を控除して計算しております。

## 株式所有者別状況



## 【 株式事務に関するご案内 】

1.各種お手続きのお問合せ窓口について  
株主様の住所変更、買取請求その他の各種お手続につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて  
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

## 株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日  
配当金受領株主確定日 3月31日  
單 元 株 式 数 100株  
定 時 株 主 総 会 毎年6月  
株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711(通話料無料)  
(郵送先) 〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号  
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所スタンダード市場  
公 告 の 方 法 電子公告により行う。  
公 告 掲 載 URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>  
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

## 単元未満株式をご所有の株主様へ

## 単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。

当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料※としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようご案内申し上げます。

※無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

例:  
株主様が10株をご所有の場合

株主様  
(10株 ご所有)

10株 買取請求

ティアック

買取金支払い  
10株 謹渡

株主様  
(0株)

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地

TEL 042-356-9100 (代表)

ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>